

平成28年度学校評議員会報告

第2回学校評議員会 【平成28年11月11日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

(1) 現在の学校の様子について

① 学校評価について（教頭）

9月に実施した授業アンケート集約結果について報告しました。

② 農場より

農場の現況について説明があった後、本日の収穫祭についてパンフレットをもとに追加説明がありました。信州クラーク塾は本校が事務局校として本年度担当しています。

国際交流では留学生を1ヶ月間受け入れるなど、積極的な交流を進めています。農場の生産額は1,000万単位に上りますが、県からの交付金は600万に留まっています。

③ 進路指導部より

3年生の進路希望では就職者の割合が半数になっています。高校の求人数はここ何年かでは多い年度となりました。公務員試験では7名が受験し2名合格、2名が結果待ちの状況です。進学はこれからが本番を迎える時期となりましたので、最終的な結果は次回の評議員会で報告します。

④ 生徒指導部より

社会的な風潮によるものかはわかりませんが、SNSトラブルが急増しています。また、近隣の高校でも交通事故が多発している様子をお聞きしています。特に自転車による事故が4月より頻発している状況です。

⑤ 生徒会指導部より

役員選挙では選挙権年齢が18歳以下に引き下げられたのを受け、安曇野市の選管より投票箱を借用し、模擬投票を行いました。現在、新生徒会役員体制を構築中です。

(2) 質疑 意見交換

- ・ 収穫祭での表彰等を拝見し、立派な成果を残していると実感した。鵬塾を今後とも支援していきたい。学校での生産物が1,000万あるが、県からの交付金が600万に留まっている。

<回答> 農場

昨年度より、年間の生産物に対し3%のキックバックが導入されました。昨年度は本校に30万ほど戻ってきまして、農具などの購入に充てました。

- ・ 収穫祭での体験報告をお聞きし、情報機器の操作に生徒が巧みだと感心した。学校再編の目途は現時点でどうなっているのでしょうか。

<回答> 学校長

地域の皆さんの声をお聞きしながら新しい学科を含めて検討していきたいと考えている。

- ・ 本日の収穫祭に参加させていただき、素朴な生徒が多いと感じましたが、「いじめ」はあるのでしょうか。

<回答> 生徒指導部

からかいなどSNSを通じて軽い気持ちでやってしまう例があります。軽度の身体への接触などの指導事例があり、事の重大さがわからない生徒が増えてきています。

- ・ 花や果物を買わせていただくことがある。販売時に買うお客さんとコミュニケーションをもっととれるようになってほしい。生産物の食べ方、栽培している様子などがわかるような工夫があるとよいと思いました。国際交流を進めてもらうことは視野を広げる意味でよいことと思います。

- ・ 販売に力を入れていく方向で商業的な知識をさらに取り込んでいくのもよいのではないのでしょうか。マーケティングを実習の場で生徒もよく学んでいる。

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・当日午前中は収穫祭で、ほとんどの評議員の方にそちらから参加していただくことができ、生徒の様子を見ていただけた。赤飯、豚汁、りんご、漬物の会食も一緒に行った。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・安曇野市の高校生を取り巻く状況について評議員より聞くことができた
子どもの貧困、いじめ、ネグレクトはあるが都市部ほど深刻でない印象を受けている。高校生段階では、親以外にも聞いてくれる人（聞き役）が必要だと感じる。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・生徒が販売に出た時の様子が評議員より報告され、ただ売るだけでなく、学習や栽培状況等を裏付けにしながら顧客と会話ができるようなコミュニケーションになっていくことが重要だと感じた。